

令和3年8月16日

松阪市長 竹上 真人 様

松阪市環境影響評価委員会
会長 朴 恵淑



(仮称) 三重松阪蓮ウィンドファーム発電所計画段階環境配慮書
について (答申)

令和3年8月16日に諮問のありました、(仮称) 三重松阪蓮ウィンドファーム発電所計画段階環境配慮書について、審議の結果、別添のとおり意見を付して答申します。

別紙（議案第1号）

・環境影響評価法に基づいた手続において、科学的な知見に基づいた調査・予測を実施していただきたい。

・事業実施想定区域はホットスポットみえで示された希少野生動植物主要生育生息地に含まれているため、しっかりと現地調査した上で、動植物全般に係る直接的影響、間接的影響を含めて環境予測を実施していただきたい。

・地質・地形の把握等の設計に必要な現地調査を実施し、風車の配置については、地形形状や様々な条件を満たすよう考慮し、配置・基数を検討していただきたい。

・建設予定地の岩盤は脆いものと想定できることから、近年の豪雨等による土砂災害の懸念や道路の新設・拡張による排水等の水環境問題、地域住民の安全性の確保を十分配慮していただきたい。

・地域住民等との合意形成を図るなかで説明会など理解を高める努力を十分行っていただきたい。